

# 日立金属株式会社

## 2022年度第1四半期決算 説明資料

### [目次]

1. 業績概要
2. セグメント別業績
3. 財政状態
4. 連結キャッシュ・フロー
5. 公開買付けについて

2022年7月27日

# 1. 業績概要

## 1-1. 2022年度1Q概況

### 経営環境

本内容は、各種資料を参考に当社が推定したものです。

- (1) 資材価格は急騰局面からピークアウトの兆しもあるが、数十年振りの水準となる円安進行の影響により高値継続。
- (2) 部品や素材の供給不足や国際物流の混乱の影響が継続。
- (3) COVID-19拡大やウクライナ情勢などにより、需要動向の先行きは不透明な状況が継続。

### 売上収益

- (1) 原材料価格上昇(価格スライド制)や円安影響により前年同期比増収。
- (2) 事業分野別状況(前年同期比)
  - [自動車] 製品群別の数量動向は、北米市場での需要回復により自動車鋳物が増加したが、半導体不足や中国ロックダウン等に伴う完成車メーカーの生産調整の影響を受け、産機材、磁性材料、自動車用電装部品が減少。
  - [航空機] 航空機関連材料は、中小型旅客機向け需要が大きく回復。
  - [FA・ロボット] 自動車や半導体等の製造に関わる設備投資需要が増加。
  - [半導体] 情報通信機器や自動車用途の需要が増加。

### 調整後営業利益・当期利益\*

売上・構成等および原材料価格・電力・輸送費増などの減益要因があったが、コスト削減施策や円安による利益増加等により、前年同期比で、調整後営業利益33億円増益、当期利益121億円増益。なお、資源価格高騰に伴う諸経費やエネルギーコスト増加に対応し、販売価格改定を実施中。

\*親会社株主に帰属する当期利益

# 1-2. 業績

金額単位: 億円 斜体文字は利益率	2021年度				通期	2022年度		増減 前年同期比 (B/A-1)×100[%] またはB-A	通期予想
	1Q(4-6月)(A)	2Q(7-9月)	3Q(10-12月)	4Q(1-3月)		1Q(4-6月)(B)	増減		
	1\$=109円 1€=132円 1元=17.0円	1\$=110円 1€=130円 1元=17.0円	1\$=114円 1€=130円 1元=17.8円	1\$=116円 1€=130円 1元=18.3円	1\$=112円 1€=131円 1元=17.5円	1\$=130円 1€=138円 1元=19.6円			1\$=120円 1€=130円 1元=19.0円
売上収益	2,269	2,295	2,344	2,519	9,427	2,768	+22%	11,000	
調整後営業利益*	3.7% 85	3.0% 68	2.3% 53	2.5% 62	2.8% 268	4.3% 118	+33	6.4% 700	
IFRS営業利益	1.9% 42	4.6% 106	1.8% 42	3.1% 77	2.8% 267	3.5% 98	+56	-	
税引前当期利益	43	110	52	122	327	199	+156	415	
親会社株主に 帰属する当期利益	30	83	22	△15	120	151	+121	300	

\*:調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

為替差益101億円

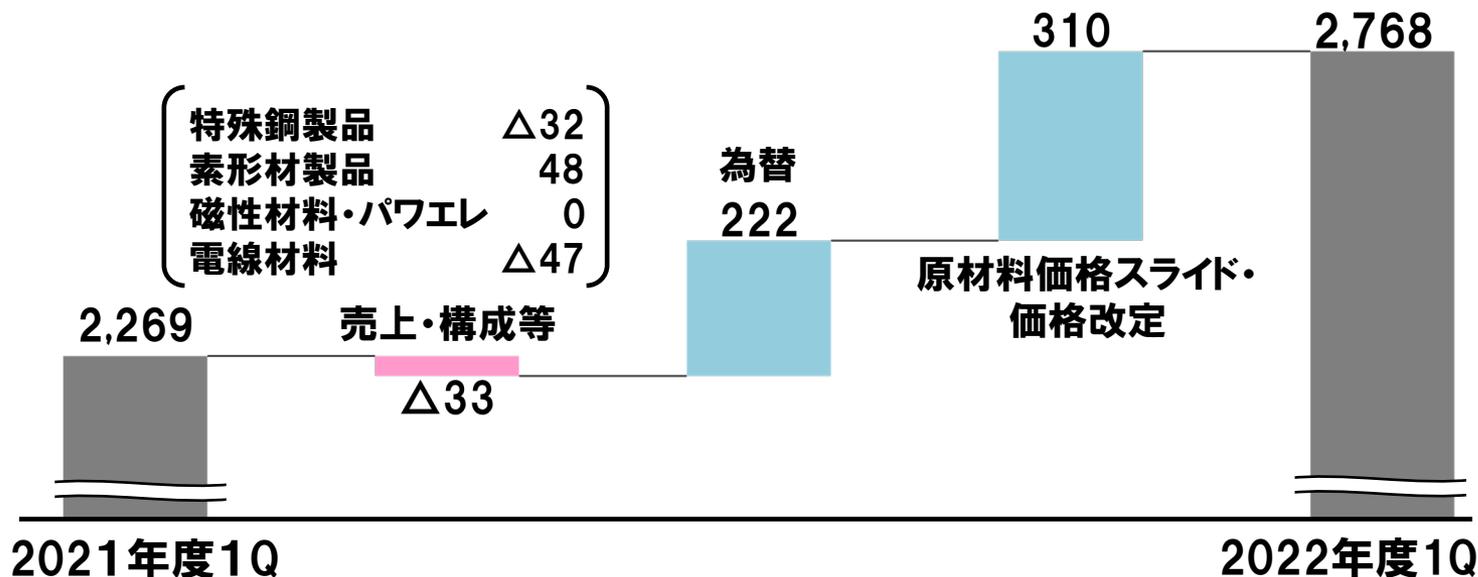
## 地域別売上

金額単位: 億円		日本	北米	中国	その他アジア	欧州	その他
2021年度	売上収益	984	651	195	290	104	45
1Q	売上比率	43%	29%	9%	13%	4%	2%
2022年度	売上収益	1,033	952	229	361	133	60
1Q	売上比率	37%	35%	8%	13%	5%	2%
	売上収益 前年同期比	+5%	+46%	+17%	+24%	+28%	+33%

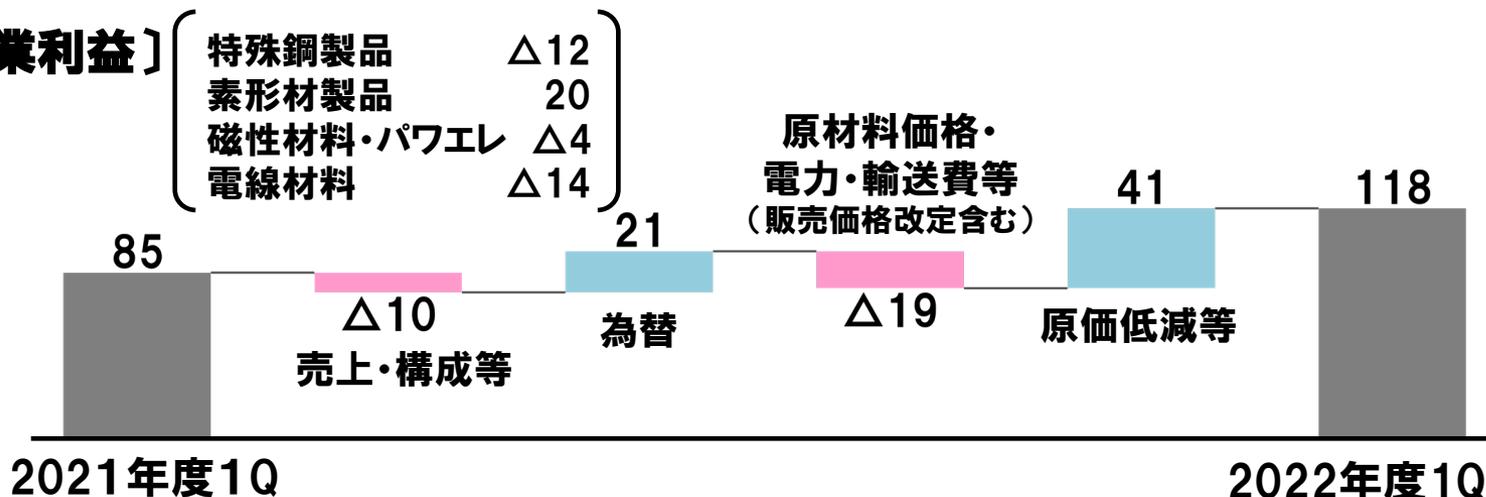
# 1-3. 売上収益・調整後営業利益の増減要因(前年同期比)

## 〔売上収益〕

金額単位：億円



## 〔調整後営業利益〕



# 日立金属株式会社

## 2022年度第1四半期決算 説明資料

### [目次]

1. 業績概要
2. セグメント別業績
3. 財政状態
4. 連結キャッシュ・フロー
5. 公開買付けについて

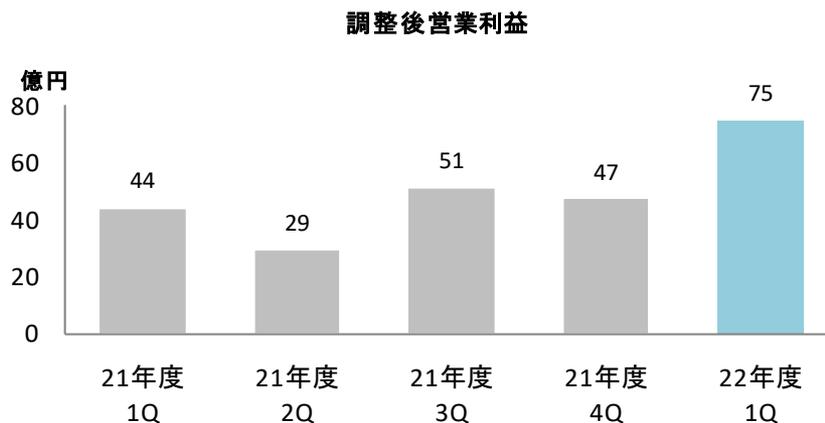
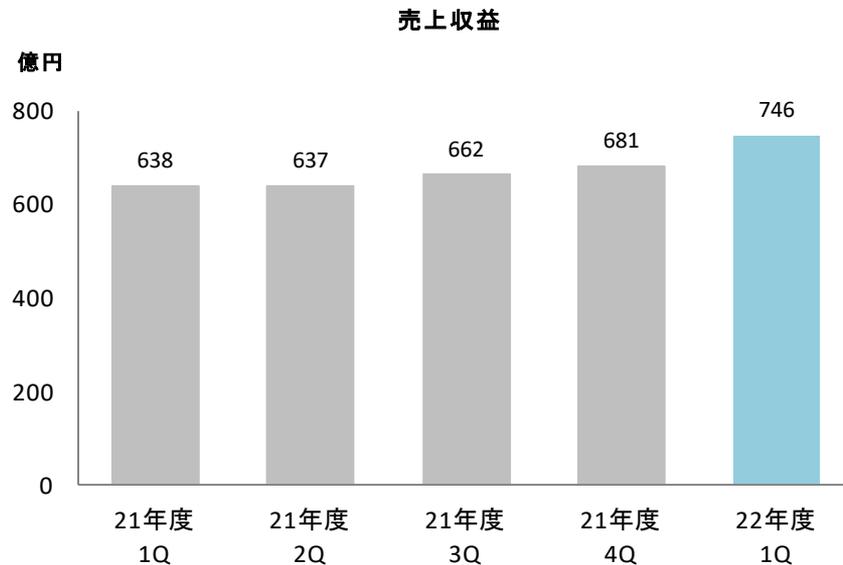
# 2. セグメント別業績

## 2-1. 業績一覧

金額単位:億円 (斜体文字は利益率)		2021年度								2022年度						
		1Q(4-6月)		2Q(7-9月)		3Q(10-12月)		4Q(1-3月)		通期		1Q(4-6月)		増減	通期予想	
		1\$=109円 1€=132円 1元=17.0円	1\$=110円 1€=130円 1元=17.0円	1\$=114円 1€=130円 1元=17.8円	1\$=116円 1€=130円 1元=18.3円	1\$=112円 1€=131円 1元=17.5円	1\$=130円 1€=138円 1元=19.6円	1\$=120円 1€=130円 1元=19.0円	前年同期比 (B/A-1)×100[%] またはB-A							
金属材料	売上収益	638	637	662	681	2,618	746	+17%	3,100							
	特殊鋼製品															
	調整後営業利益	6.9%	44	4.6%	29	7.7%	51	6.9%	47	6.5%	171	10.1%	75	+31	9.0%	280
	IFRS営業利益	7.2%	46	4.1%	26	6.8%	45	6.2%	42	6.1%	159	10.2%	76	+30	-	-
	売上収益	761	769	743	867	3,140	1,047	+38%	3,600							
	素形材製品															
調整後営業利益	Δ0.1%	Δ1	Δ2.9%	Δ22	Δ5.4%	Δ40	Δ3.8%	Δ33	Δ3.1%	Δ96	0.3%	3	+4	2.6%	95	
IFRS営業利益	Δ1.4%	Δ11	Δ2.5%	Δ19	Δ5.8%	Δ43	Δ4.6%	Δ40	Δ3.6%	Δ113	Δ0.1%	Δ1	+10	-	-	
小計*	売上収益	1,399	1,406	1,405	1,548	5,758	1,793	+28%	6,700							
	調整後営業利益	3.1%	43	0.5%	7	0.8%	11	0.9%	14	1.3%	75	4.4%	78	+35	5.6%	375
	IFRS営業利益	2.5%	35	0.5%	7	0.1%	2	0.1%	2	0.8%	46	4.2%	75	+40	-	-
機能部材	売上収益	318	341	332	371	1,362	385	+21%	1,700							
	磁性材料・															
	パワー	7.5%	24	12.6%	43	7.5%	25	9.7%	36	9.4%	128	8.8%	34	+10	10.6%	180
	エレクトロニクス	7.9%	25	13.2%	45	8.4%	28	8.4%	31	9.5%	129	8.8%	34	+9	-	-
	IFRS営業利益	7.9%	25	13.2%	45	8.4%	28	8.4%	31	9.5%	129	8.8%	34	+9	-	-
	売上収益	550	547	607	598	2,302	590	+7%	2,600							
電線材料																
調整後営業利益	2.9%	16	1.8%	10	2.0%	12	2.3%	14	2.3%	52	Δ1.0%	Δ6	Δ22	5.6%	145	
IFRS営業利益	0.7%	4	1.5%	8	3.8%	23	0.3%	2	1.6%	37	Δ1.7%	Δ10	Δ14	-	-	
小計*	売上収益	868	888	939	969	3,664	975	+12%	4,300							
	調整後営業利益	4.6%	40	6.0%	53	3.9%	37	5.2%	50	4.9%	180	2.9%	28	Δ12	7.6%	325
	IFRS営業利益	3.3%	29	6.0%	53	5.4%	51	3.4%	33	4.5%	166	2.5%	24	Δ5	-	-
その他・調整額	売上収益	2	1	0	2	5	0	-	0							
	調整後営業利益	2	8	5	Δ2	13	12	+10	0							
	IFRS営業利益	Δ22	46	Δ11	42	55	Δ1	+21	-							
合計	売上収益	2,269	2,295	2,344	2,519	9,427	2,768	+22%	11,000							
	調整後営業利益	3.7%	85	3.0%	68	2.3%	53	2.5%	62	2.8%	268	4.3%	118	+33	6.4%	700
	IFRS営業利益	1.9%	42	4.6%	106	1.8%	42	3.1%	77	2.8%	267	3.5%	98	+56	-	-

\*:セグメント間相殺前の単純合計値

## 2-2. セグメント別業績: 特殊鋼製品(1)



### 【売上収益】

(前年同期比)

#### ・工具鋼

国内、海外向けともに需要は前年同期並みだが、原材料価格上昇(価格スライド制)等により増加。

#### ・産機材

自動車関連製品の需要は減少したが、その他の産業機器向け材料の需要の増加に加え、原材料価格上昇(価格スライド制)等により前年同期並み。

#### ・航空機・エネルギー関連材料

主力の航空機関連材料で中小型旅客機向け需要が大きく回復。エネルギー関連材料も堅調に推移し、全体として増加。

#### ・電子材

有機ELパネル関連部材が伸長。半導体パッケージ材料の需要が高水準で推移。スマートフォンや電池向けクラッド材も堅調に推移。

#### ・ロール

射出成形機用部品や鉄骨構造部品は前年同期並み。各種ロールが増加。

### 【調整後営業利益】

航空機・エネルギー関連材料や電子材の需要増加に加え、円安やコスト削減等により増益。

## 2-3. セグメント別業績:特殊鋼製品(2)

金額単位:億円	2021年度				通期	2022年度	増減 前年同期比
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	3Q(10-12月)	4Q(1-3月)		1Q(4-6月)	
売上収益	638	637	662	681	2,618	746	+17%
特殊鋼 <sup>*1</sup>	584	583	610	622	2,399	686	+17%
ロール <sup>*1</sup>	54	53	54	58	219	61	+13%
調整後営業利益	44	29	51	47	171	75	+31
調整後営業利益率	6.9%	4.6%	7.7%	6.9%	6.5%	10.1%	+3.2pt
IFRS営業利益	46	26	45	42	159	76	+30

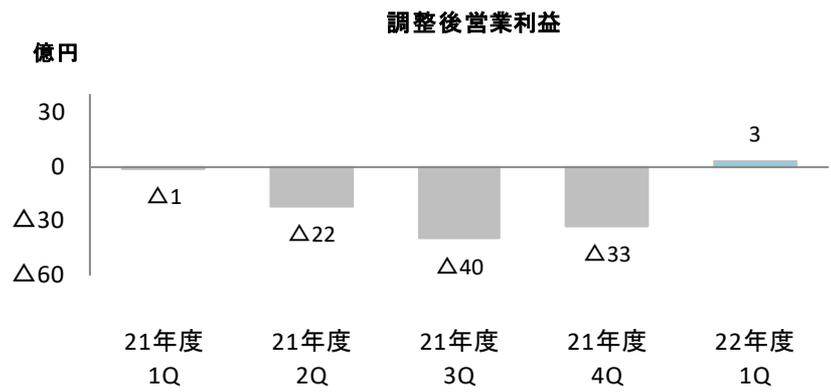
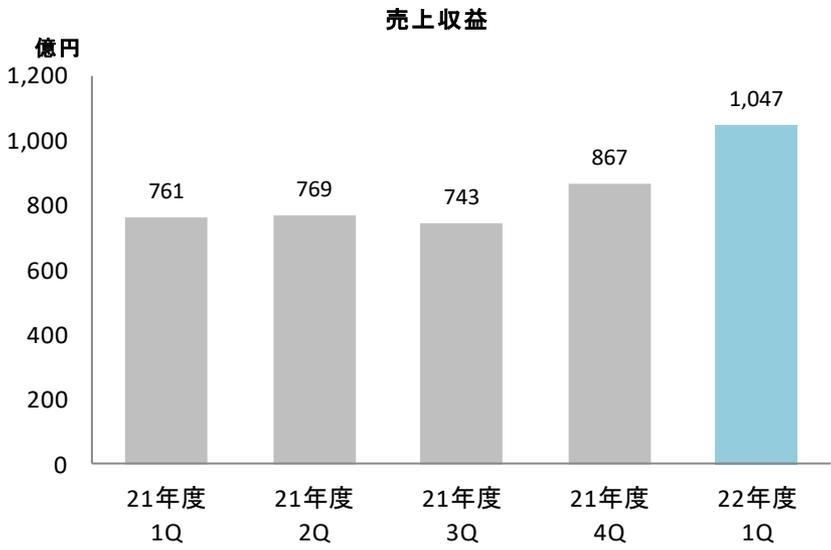
製品別増減(前年同期比)	2021年度				通期	2022年度
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	3Q(10-12月)	4Q(1-3月)		1Q(4-6月)
工具鋼 <sup>*2</sup>	+25%	+32%	+35%	+22%	+28%	+21%
産機材 <sup>*2</sup>	+34%	+27%	+14%	+1%	+18%	△1%
航空機・エネルギー <sup>*2</sup>	△20%	△9%	+15%	+27%	+1%	+49%
電子材 <sup>*2</sup>	+27%	+27%	+22%	+21%	+24%	+22%
ロール <sup>*3</sup>	△2%	△1%	+13%	+15%	+6%	+13%

\*1:セグメント間相殺前の単純合計値

\*2:簡易的な方法により集計した売上収益(金額)の増減比を表示

\*3:セグメント間相殺前の単純合計値の増減比を表示

# 2-4. セグメント別業績: 素形材製品(1)



**【売上収益】** (前年同期比)

- 自動車用鋳物**
  - 鋳鉄製品:** 完成車メーカーの生産調整の影響があったが、北米市場で商用車や建設機械・農業機械向け需要増加。原材料価格上昇(価格スライド制)、円安もあり、全体としては増加。
  - 耐熱鋳造部品:** 製品構成の変化や完成車メーカーの生産調整の影響により需要が減少したが、原材料価格上昇(価格スライド制)により前年同期並み。
- 配管機器**
  - 継手類:** 国内需要は減少したが、米国の住宅着工戸数が高水準となり、増加。
  - 半導体製造装置用機器:** 設備投資需要が好調に推移。

**【調整後営業利益】**  
北米市場における商用車や建設機械・農業機械の需要増加等により、黒字化。

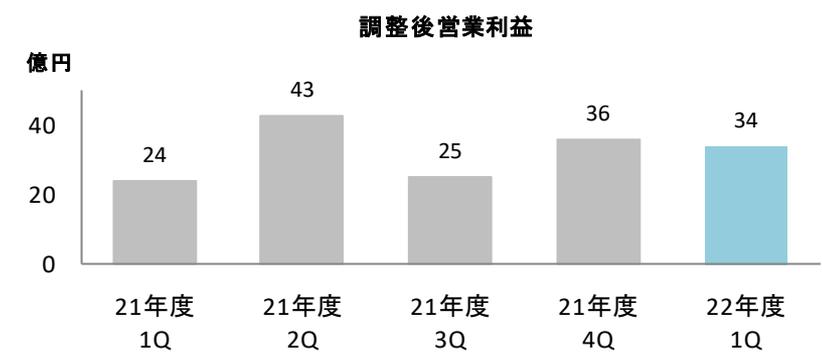
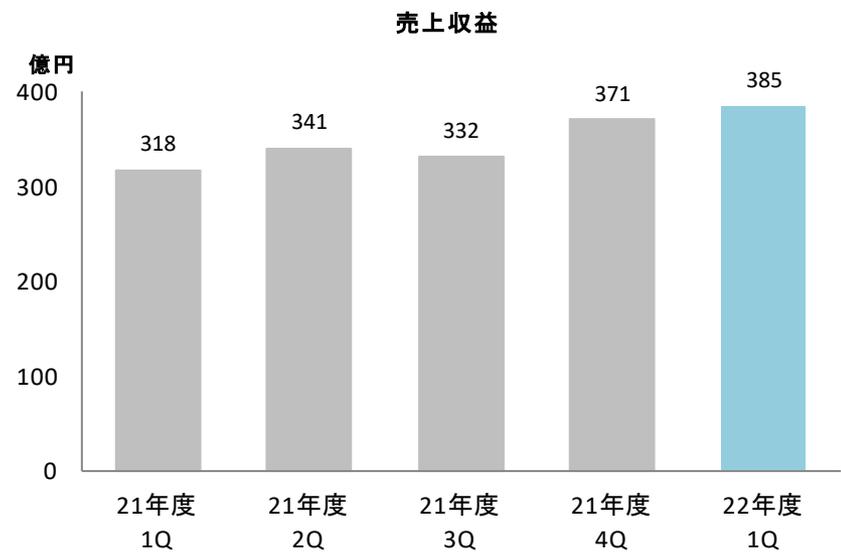
## 2-5. セグメント別業績: 素形材製品(2)

金額単位: 億円	2021年度				通期	2022年度	増減
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	3Q(10-12月)	4Q(1-3月)		1Q(4-6月)	前年同期比
売上収益	761	769	743	867	3,140	1,047	+38%
自動車铸件*	649	645	620	745	2,659	914	+41%
Waupaca社*	484	490	481	577	2,032	739	+53%
配管機器*	113	123	123	122	481	132	+17%
調整後営業利益	△ 1	△ 22	△ 40	△ 33	△ 96	3	+4
調整後営業利益率	△0.1%	△2.9%	△5.4%	△3.8%	△3.1%	0.3%	+0.4pt
IFRS営業利益	△ 11	△ 19	△ 43	△ 40	△ 113	△ 1	+10

\*: セグメント間相殺前の単純合計値

製品別増減(前年同期比)	2021年度				通期	2022年度
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	3Q(10-12月)	4Q(1-3月)		1Q(4-6月)
鋳鉄製品 [Waupaca社] (重量)	+88%	△2%	△4%	0%	+12%	+6%
鋳鉄製品 [その他] (重量)	+102%	+5%	△8%	0%	+14%	+18%
耐熱鋳造部品 ハーキュナイト® (重量)	+84%	+13%	△30%	△19%	+1%	△27%

# 2-6. セグメント別業績：磁性材料・パワーエレクトロニクス(1)



(前年同期比)

**【売上収益】**

**・磁性材料**

**希土類磁石：**  
 自動車用電装部品向けは需要減少、FA・ロボット等産業機器向けも需要が低調となったが、原材料価格上昇(価格スライド制)影響により、全体としては増加。

**フェライト磁石：**  
 自動車用電装部品向け需要が減少したが、原材料価格上昇(価格スライド制)影響により前年同期並み。

**・パワーエレクトロニクス**

**軟磁性材料およびその応用品：**  
 スマートフォンやタブレット端末、サーバー機器等の情報通信向けが好調。  
 アモルファス金属材料もアジア向け、米州向けが増加。

**セラミックス製品：**  
 自動車向けが伸長、サーバー機器向けが需要増加、医療機器向けも高水準となり、全体として増加。

**【調整後営業利益】**  
 円安やコスト削減に加え、パワーエレクトロニクスの需要増等により増益。

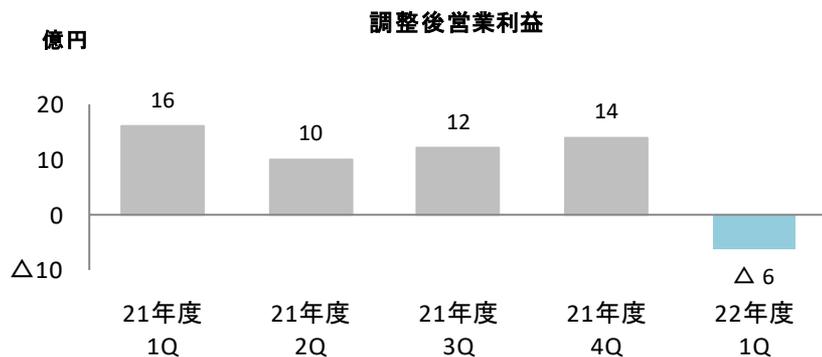
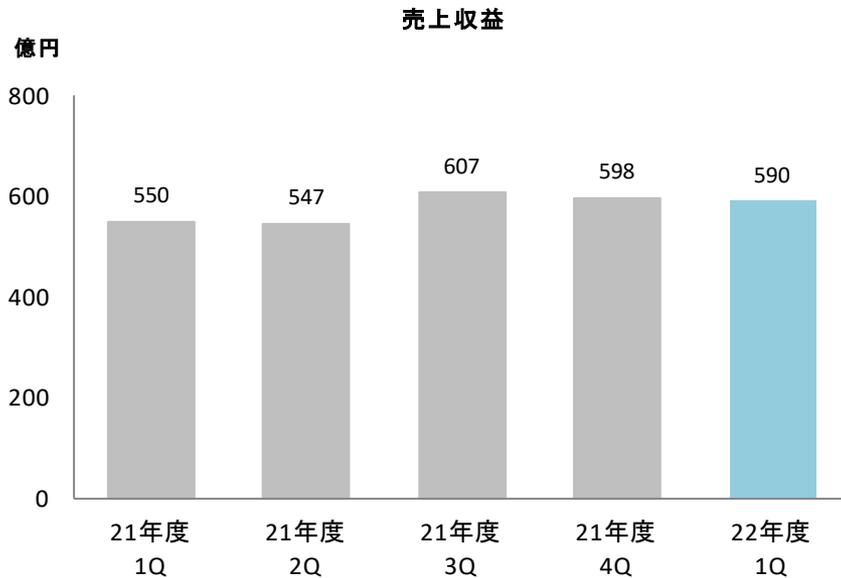
## 2-7. セグメント別業績：磁性材料・パワーエレクトロニクス(2)

金額単位:億円	2021年度					通期	2022年度	増減
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	3Q(10-12月)	4Q(1-3月)	1Q(4-6月)		前年同期比	
売上収益	318	341	332	371	1,362	385	+21%	
磁性材料*	218	235	222	245	920	248	+14%	
パワーエレクトロニクス*	100	106	110	126	442	138	+38%	
調整後営業利益	24	43	25	36	128	34	+10	
調整後営業利益率	7.5%	12.6%	7.5%	9.7%	9.4%	8.8%	+1.3pt	
IFRS営業利益	25	45	28	31	129	34	+9	

\*:セグメント間相殺前の単純合計値

製品別増減(前年同期比)	2021年度					通期	2022年度
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	3Q(10-12月)	4Q(1-3月)	1Q(4-6月)		
希土類磁石(重量)	+47%	+11%	+7%	△3%	+14%	△15%	
フェライト磁石(重量)	+67%	+15%	△16%	△15%	+6%	△14%	

## 2-8. セグメント別業績:電線材料(1)



### 【売上収益】

(前年同期比)

#### ・電線

**鉄道車両用電線:**  
中国向けが需要減少。

**医療:**  
チューブ、ケーブルとも需要が増加。

**巻線:**  
自動車向けの需要は減少したが、原材料価格上昇(価格スライド制)により増加。

**機器用電線:**  
FA・ロボット向けが伸長。  
以上により、電線全体では増加。

#### ・自動車部品

完成車メーカーの生産調整を受け電装部品の需要が減少したが、円安となったこと等により増加。

### 【調整後営業損益】

価格スライド制により売上収益は押し上げられたが、鉄道車両用電線や自動車用電装部品等の需要が減少したことに加え、原材料・輸送コスト等が上昇した影響により損失計上。

## 2-9. セグメント別業績:電線材料(2)

金額単位:億円	2021年度				通期	2022年度	増減 前年同期比
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	3Q(10-12月)	4Q(1-3月)		1Q(4-6月)	
売上収益	550	547	607	598	2,302	590	+7%
調整後営業利益	16	10	12	14	52	△6	△22
調整後営業利益率	2.9%	1.8%	2.0%	2.3%	2.3%	△1.0%	△3.9pt
IFRS営業利益	4	8	23	2	37	△10	△14

製品別増減(前年同期比)	2021年度				通期	2022年度
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	3Q(10-12月)	4Q(1-3月)		1Q(4-6月)
鉄道*	△2%	△18%	△22%	△3%	△13%	△11%
医療*	△7%	+13%	+38%	+59%	+24%	+23%
FA・ロボット*	+48%	+56%	+46%	+67%	+55%	+41%
巻線*	+72%	+62%	+40%	+24%	+59%	+14%
電装部品*	+79%	0%	△7%	△2%	+10%	△6%

\*:簡易的な方法により集計した売上収益(金額)の増減比を表示

成長分野売上割合 2021年度第1四半期 43%  
2022年度第1四半期 43%

### 3. 財政状態

金額単位：億円	2021年度末	2022年度1Q末	増減
	1\$=122円 1€=137円 1元=19.3円	1\$=137円 1€=143円 1元=20.4円	
<b>資産合計</b>	<b>10,697</b>	<b>11,495</b>	<b>+798</b>
<b>売上債権</b>	<b>1,873</b>	<b>2,135</b>	<b>+262</b>
<b>棚卸資産</b>	<b>2,284</b>	<b>2,619</b>	<b>+335</b>
<b>固定資産</b>	<b>4,496</b>	<b>4,666</b>	<b>+170</b>
<b>負債合計</b>	<b>5,386</b>	<b>5,795</b>	<b>+409</b>
<b>有利子負債</b>	<b>1,969</b>	<b>2,132</b>	<b>+163</b>
<b>親会社株主持分</b>	<b>5,276</b>	<b>5,663</b>	<b>+387</b>
<b>非支配持分</b>	<b>35</b>	<b>37</b>	<b>+2</b>
<b>親会社株主持分比率</b>	<b>49.3%</b>	<b>49.3%</b>	<b>-</b>
<b>D/Eレシオ (倍)</b>	<b>0.37</b>	<b>0.38</b>	<b>+0.01</b>
<b>NET有利子負債*</b>	<b>723</b>	<b>857</b>	<b>+134</b>

\*:NET有利子負債=有利子負債 - 現金及び現金同等物

**円安、原材料価格の上昇による運転資金の増加等、資産・負債ともに増加**

## 4. 連結キャッシュ・フロー

金額単位：億円	2021年度 1Q(4-6月)	2022年度 1Q(4-6月)	前年同期比
営業活動に関するキャッシュ・フロー（営業CF）	△ 56	△ 13	+43
投資活動に関するキャッシュ・フロー（投資CF）	△ 43	△ 77	△34
フリー・キャッシュ・フロー（FCF）	△ 99	△ 90	+9
コア・フリー・キャッシュ・フロー*	△ 112	△ 97	+15

\*: コア・フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動に関するキャッシュ・フロー - 資本的支出

**営業CF： 運転資金の増加はあったが、四半期利益の増加等により、前年同期比+43億円。**

**投資CF： 主に、固定資産取得の増加により、前年同期比△34億円。**

# 日立金属株式会社

## 2022年度第1四半期決算 説明資料

### [目次]

1. 業績概要
2. セグメント別業績
3. 財政状態
4. 連結キャッシュ・フロー
5. 公開買付けについて

### 公開買付者(ベインキャピタルが軸となるコンソーシアム)からの情報

- ・ 競争法に基づく手続及び対応において重大な問題は認識しておらず、引き続き早期にこれらの手続及び対応を完了すべく努める。
- ・ 各国の審査状況については非開示方針。
- ・ 現時点でのウクライナ情勢の公開買付けへの影響はなし。
- ・ 審査完了(クリアランス取得)次第、すみやかに公開買付けを開始する。
- ・ 現時点で2022年度中の公開買付け開始を見込む。

金額単位: 億円	2018年度	2019年度	2020年度	2020年度	2020年度	2020年度	2020年度	2020年度	2021年度	2021年度	2021年度	2021年度	2021年度	2022年度	2022年度
	通期	通期	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	3Q(10-12月)	4Q(1-3月)	通期	通期	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	3Q(10-12月)	4Q(1-3月)	通期	1Q(4-6月)	通期予想
	1S=111円 1E=128円 1円=16.5円	1S=109円 1E=121円 1円=15.6円	1S=108円 1E=118円 1円=15.2円	1S=106円 1E=124円 1円=15.4円	1S=105円 1E=125円 1円=15.8円	1S=106円 1E=128円 1円=16.4円	1S=106円 1E=124円 1円=15.7円	1S=109円 1E=132円 1円=17.0円	1S=110円 1E=130円 1円=17.0円	1S=114円 1E=130円 1円=17.8円	1S=116円 1E=130円 1円=18.3円	1S=112円 1E=131円 1円=17.5円	1S=112円 1E=131円 1円=17.5円	1S=130円 1E=138円 1円=19.6円	1S=120円 1E=130円 1円=19.0円
売上収益	10,234	8,814	1,548	1,860	2,006	2,202	7,616	2,269	2,295	2,344	2,519	9,427	2,768	11,000	
調整後営業利益*1	514	144	△73	△51	38	36	△50	85	68	53	62	268	118	700	
調整後営業利益率	5.0%	1.6%	△4.7%	△2.7%	1.9%	1.6%	△0.7%	3.7%	3.0%	2.3%	2.5%	2.8%	4.3%	6.4%	
その他の収益	107	86	31	12	13	41	97	11	75	24	70	180	14	-	
その他の費用	△197	△621	△22	△283	△45	△190	△540	△54	△37	△35	△55	△181	△34	-	
IFRS営業利益	424	△391	△64	△322	7	△113	△492	42	106	42	77	267	98	-	
EBIT	453	△384	△67	△321	5	△109	△492	46	114	56	126	342	204	510	
EBITDA	962	168	66	△189	124	11	12	162	230	172	243	807	325	985	
税引前当期(四半期)利益	430	△406	△71	△324	1	△112	△506	43	110	52	122	327	199	415	
親会社株主に帰属する 当期(四半期)利益	314	△376	△33	△299	△5	△86	△423	30	83	22	△15	120	151	300	
設備投資額	954	530	72	74	52	90	288	51	64	83	145	343	55	-	
減価償却費	509	552	133	132	119	120	504	116	116	116	117	465	121	-	
研究開発費	186	159	35	38	35	37	145	31	32	30	31	124	30	-	
売上債権	1,953	1,577	1,411	1,575	1,639	1,676	1,676	1,821	1,867	1,914	1,873	1,873	2,135	-	
棚卸資産	2,148	1,799	1,835	1,671	1,691	1,701	1,701	1,906	2,057	2,200	2,284	2,284	2,619	-	
有利子負債	2,021	1,876	2,151	2,126	1,814	1,953	1,953	1,999	2,024	2,022	1,969	1,969	2,132	-	
フリー・キャッシュ・フロー	△297	495	49	17	120	362	548	△99	△14	△113	461	235	△90	-	
ROIC*2	5.3%	1.7%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0%	-	-	
ROE*3	5.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4%	-	-	
ROA*4	2.9%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.2%	-	-	
CCC*5(日)	90.7	87.1	-	-	-	-	89.1	-	-	-	-	82.9	-	-	
D/Eレシオ(倍)	0.34	0.36	0.42	0.44	0.38	0.40	0.40	0.41	0.40	0.40	0.37	0.37	0.38	-	
海外売上比率	56%	54%	49%	57%	56%	57%	55%	57%	57%	56%	59%	57%	63%	59%	
人 員(人)	30,304	29,805	29,542	29,025	28,730	28,620	28,620	28,278	27,911	27,882	27,771	27,771	27,185	27,700	
基本的1株当たり 当期(四半期)利益(円)	73.37	△88.05	△7.81	△69.86	△1.19	△20.04	△98.90	7.01	19.36	5.31	△3.54	28.14	35.24	-	
1株当たり配当金(円)	34.0	26.0	-	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	
1株当たり 親会社株主持分(円)	1,375.2	1,216.9	1,195.1	1,119.9	1,117.6	1,145.3	1,145.3	1,152.8	1,173.1	1,194.9	1,233.9	1,233.9	1,324.5	-	

\*1: 調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

\*2: ROIC(投下資本利益率) = {調整後営業利益 × (1 - 税率25%) + 持分法投資損益} ÷ (期首期末平均有利子負債 + 期首期末平均資本)

\*3: ROE(親会社株主持分当期利益率) = 親会社株主に帰属する当期利益 ÷ 期首期末平均親会社株主持分 × 100

\*4: ROA(資産合計当期利益率) = 親会社株主に帰属する当期利益 ÷ 期首期末平均資産合計 × 100

\*5: CCC(運転資金手持日数) = 運転資金[売上債権 + 棚卸資産 - 買入債務] ÷ 1日平均売上収益

## 主要製品 重量動向

2021年度1Qを100とした場合の指数

製品	2020年度				2021年度				2022年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	
特殊鋼製品	工具鋼	67	67	68	87	100	107	109	106	102
	CVTベルト材	60	78	76	79	100	94	98	94	75
	ピストンリング材	38	40	97	100	100	97	107	95	100
	有機EL関連部材	88	88	120	75	100	113	118	115	132
素形材製品	鋳鉄製品 [Waupaca社]	53	98	95	105	100	96	91	104	106
	鋳鉄製品 [その他]	49	84	97	97	100	89	90	97	118
	耐熱鋳造部品 ハーキュナイト <sup>®</sup>	54	85	108	105	100	97	76	85	73
磁性材料 ・ パワー エレクトロニクス	希土類磁石	68	81	90	91	100	90	97	89	85
	フェライト磁石	60	76	100	103	100	88	84	88	86
	アモルファス金属材料 Metglas <sup>®</sup>	70	87	105	107	100	103	122	146	157
電線材料	電装部品*	56	93	114	111	100	93	109	107	94

\* 電装部品は、簡易的な方法により集計した売上収益(為替影響を除外した金額)の指数

# (参考) マーケット分野別事業構造(2020年10月～)

## ■ 事業ポートフォリオ

事業本部	事業セグメント	産業インフラ	自動車	エレクトロニクス
金属材料	特殊鋼製品	タービンケース 工具鋼	特殊鋼 CVTベルト材	クラッド材 リードフレーム材
	素形材製品	ロール 圧延用ロール 配管機器 管継手 ガス用ポリエチレン配管システム	自動車鋳物 鋳鉄製品 耐熱鋳造部品[ハーキュナイト®]	
機能部材	磁性材料 ・ パワーエレクトロニクス	ネオジウム磁石 [NEOMAX®] アモルファス金属 [Metglas®]	磁性材料 パワーエレクトロニクス	フェライト磁石 [NMF®] 窒化ケイ素基板
	電線材料	鉄道車両用電線 FA・ロボット用ケーブル	電線 自動車部品 電動パーキングブレーキ用ハーネス	

# (参考) 日立金属の事業構造(2020年10月～)

## ■ 日立金属の事業構造

事業本部	事業セグメント	事業部門	主要製品
金属材料	特殊鋼製品	特殊鋼	工具鋼、自動車関連材料、剃刃材および刃物材、精密鋳造品、航空機・エネルギー関連材料、ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料、電池用材料
		ロール	各種圧延用ロール、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品
	素形材製品	自動車鋳物	ダクタイル鋳鉄製品[HNM <sup>®</sup> ]、輸送機向け鋳鉄製品、排気系耐熱鋳造部品[ハーキュナイト <sup>®</sup> ]、アルミニウム部品
		配管機器	設備配管機器(∪ <sup>®</sup> 印各種管継手・各種バルブ、ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷水供給機器、精密流体制御機器、密閉式膨張タンク)
機能部材	磁性材料 ・ パワーエレクトロニクス	磁性材料	希土類磁石[NEOMAX <sup>®</sup> ]、フェライト磁石、その他各種磁石およびその応用品
		パワーエレクトロニクス	軟磁性材料(アモルファス金属材料[Metglas <sup>®</sup> ]、ナノ結晶軟磁性材料[ファインメット <sup>®</sup> ]、ソフトフェライト)およびその応用品、セラミックス製品
	電線材料	電線	産業用電線、機器用電線、電機材料、ケーブル加工品
		自動車部品	自動車用電装部品、ブレーキホース

当社の業績は事業セグメント区分により開示しております。

本資料に掲載されている情報のうち業績予想、事業計画および配当予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。その要因となる主なものは次のとおりです。

- ①製品需要及び市場環境等に係るリスク
- ②競争優位性及び新技術・新製品の開発・事業化に係るリスク
- ③原材料等の調達に係るリスク
- ④人材確保に係るリスク
- ⑤製品の品質に係るリスク
- ⑥環境規制等に係るリスク
- ⑦為替レートの変動に係るリスク
- ⑧M&A・事業再編等に係るリスク
- ⑨情報セキュリティに係るリスク
- ⑩海外への事業展開に係るリスク
- ⑪安全衛生に係るリスク
- ⑫地震、その他自然災害等に係るリスク
- ⑬有形固定資産やのれん等の固定資産の減損損失に係るリスク
- ⑭親会社との関係に係るリスク
- ⑮資金調達に係るリスク
- ⑯法令・公的規制に係るリスク
- ⑰知的所有権に係るリスク
- ⑱退職給付債務に係るリスク